

東港金属株式会社

東京都大田区京浜島2-20-4

電話 03-3790-1751

URL <http://www.tokometal.co.jp>

(見学受付)

電話03-3790-1751 又は 各営業担当

*霜月、11月の行事といえば酉の市です。この数年あったり間に日本中を席巻しているハロウィン(10月31日)はもととは秋の収穫を祝い、悪霊を追い出す祭りですが、酉の市(通称お酉様)も起源は収穫祭だそうです。驚神社や酉の寺のように、鳥や鷺にちなんで建てられた神社やお寺で行われています。主に関東のお祭ですが、今は、関西方面のお寺でも市が立っているようです。「酉の日」は昔の暦の読み方の一つで、11月中に酉の日が2回あれば二の酉までで、3回あれば三の酉まで「酉の市」が立ちます。縁日では縁起物の熊手が有名で、酒場のお店や、また縁起を担ぐ大会社でも、壁に大きな熊手が飾ってあるのを見かけますがあれは「運やお金を掻きこむ」として商売繁盛祈願に買い求めて飾っているのです。粋の世界ですね。日本中のゴミを掻き込んでリサイクルしている産廃処理業者用にかっ込め、かっ込め!と、巨大な熊手が欲しいものです。

*東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理を「いつでも」お受けいたします。身近なリサイクルパートナーとしてお気軽にご相談ください。



☆羅針盤

鉄・非鉄スクラップ・市況からの11月予測

営業部 Y の考察

鉄スクラップ	→	考察) 10月、指標となる東京製鉄宇都宮工場が全く動かず、特級20,000円/トン。しかし、一部電炉・高炉メーカーは下げました。11月は、オリンピックに向けて国内鋼材の需要が高まる事や各国のビレットの禁輸措置拡大等の要因から円高に進まない限りは、あがると思われます。
銅	→	考察) 10月はLME4,800ドル/トン台、国内銅建値530,000円スタートし変動がほとんどありませんでした。終盤の円安、国の石炭や商品市場の価格上昇から11月は多少はあがるでしょう。
アルミ	→	考察) LME1,650ドル/トン台でスタート。終盤1,700ドル/トンを超え銅相場同様、中国の石炭価格上昇、精錬コスト増加の懸念からウワ物、スソ物共に上がると考えられます。
プラスチック	→	考察) 価格は変わりませんが、低品位のMIXプラ等は相変わらず出荷が難しいでしょう。この傾向は11月も変わらないと思われます。

10月予測の自己評価

鉄スクラップ	×	アルミ	○
銅	○	プラスチック	×

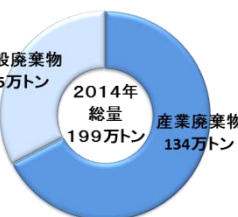
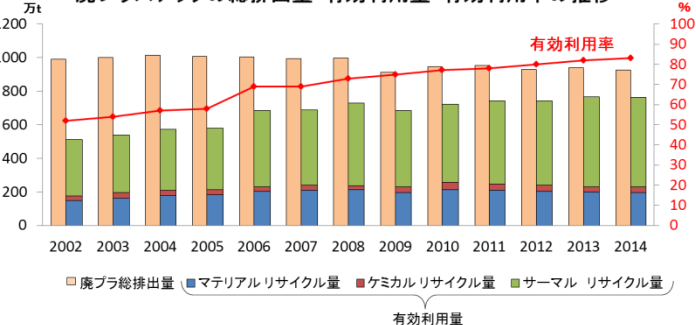
☆羅針盤

廃プラスチック・リサイクルの現状(その2)

前号に引き続き、金属類と同じく身近な素材である“プラスチック類”のリサイクルの現状について、一般社団法人プラスチック循環利用協会発行の「プラスチックリサイクルの基礎知識」2016年版の資料を引用して紹介させていただきます。

次のグラフは、廃プラスチックの総排出量の年度毎の推移と、前号で紹介しました3つのリサイクル手法により得られた重量(有効利用量)及び廃プラスチックの総排出量に対する有効利用量の割合(有効利用率)をグラフ化したものです。

廃プラスチックの総排出量・有効利用量・有効利用率の推移



3つのリサイクル手法の内、マテリアルリサイクルされた廃プラスチックのうち一般系廃プラスチックから再生利用されたものは65万t(一般系廃プラスチックの15%)ですが、産業系廃プラスチックから再生利用されたものは134万t(産業系廃プラスチックの28%)と2倍を超えました。産業系廃プラスチックの品質が一定であり、また排出量も比較的安定しているため、再生利用に回される割合が大きいためです。

プラスチックは、主に炭素と水素からなる高分子化合物で、石油や天然ガスなどから作られます。日本では、原油を精製してできる「ナフサ(粗製ガソリン)」を原料とするものがほとんどです。日本で1年間に使われる原油の量は、2億kl前後です。原油のほとんどはガソリン、灯油、軽油、重油などになり、ナフサになるのは約1割に過ぎません。その中でプラスチックに使われている量は全体の数%に過ぎず、原油はそのほとんどが燃やされ熱エネルギーとして消費されているのです。

プラスチックには多くの長所があります。例えば「軽く丈夫」「錆や腐食に強い」「透明性があり、着色自由」「大量生産可能」「電気・電子的性質が優れている」「衛生的で密封性が高い」等々です。また、ご紹介したように、リサイクルも手法が確立しており、今後も益々進化する優良材料であると思います。



私の地元・学生時代(第1回)

初めまして。私、トライメタルズ株式会社の高橋諒と申します。今月号から隔月で計6回ほどこちらに投稿させて頂く予定です。今年4月に入社したばかりの新米ではございますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

冒頭に書いた通り、東港金属ではなくトライメタルズという会社に所属しております。聞きなれない方もいらっしゃると思いますが、東港金属の協力会社にあたり、主に金属スクラップの国内転売や海外輸出を行っております。

まずは、初回ということで自己紹介を。現在22歳。茨城県古河市の出身です。因みに、「古河」は「ふるかわ」ではなく「こが」と呼びます。

茨城の印象はと聞くと、田舎で何も無いつまらない場所というイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか? 2016年度の都道府県魅力度ランキングでは“残念ながら”4年連続の最下位でした。

私の住んでいた古河市も、遊びに行っても楽しい場所や観光スポットがほとんどありませんでした。駅前以外は田んぼや工業団地ばかりが並んでおり、中高生時代に市内で遊ぶ場所と言え、せいぜいカラオケやゲームセンター程度でした。

唯一の救いは、古河市が栃木&埼玉との県境にある為に、電車に乗ればすぐに他県へ出かけることができた事。また、東北~東京をつなぐ新4号バイパス&旧4号線も通っており、車でも気軽に遠出が可能でした。

さて、ここまでは悪い所ばかり書いてしまいましたが、勿論良い所が全くない訳ではありません。

川や自然公園が存在し、東京よりも時間がゆっくり流れている気がして落ち着くのは、田舎ならではの良さですね。

私もたまに地元へ帰った時、町の静かさや澄んだ空気の匂いに懐かしさを感じ、ほっとするものです。

文献によると、古河はすでに奈良時代から渡良瀬川の渡し場として賑わっていたそうです。平安時代における東日本最大級の「製鉄所」(川戸台遺跡)があったり、「半地下式平窯」(江口長沖窯跡)も発見されており、製鉄や窯業の生産拠点でもあったそうです。江戸時代には古河城の城下町、日光街道の宿場町・古河宿として栄えたようです。古河藩領は下総国とされており、後に千葉県を経て茨城県に編入された経緯があることから、旧常陸国、水戸街道が中心の近代以降の茨城県の歴史イメージとはやや異なり、行政上でも、経済や教育の面でも栃木県、埼玉県とのつながりが強い地域です。

自然も、歴史も、迎れば魅力の多い街でございますので、今後、近くを通られることがあれば是非立ち寄ってみてください。

さて、次の回では学生時代について書こうかと思ひます。ではまた。
トライメタルズ株式会社 高橋諒